

世界遺産



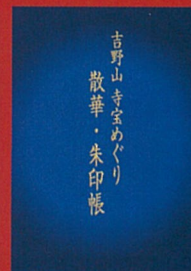
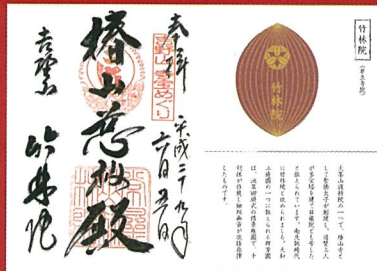
吉野山 寺宝めぐり



普段は拝めない仏像や宝物が特別に拝観できます。

「吉野山 寺宝めぐり」の記念散華を
加盟9寺院にて頒布しています。

- 金峯山寺
- 喜蔵院
- 東南院
- 如意輪寺
- 大日寺
- 弘願寺
- 善福寺
- 竹林院
- 櫻本坊



御朱印帳 1冊：500円
散華 1枚：100円
御朱印代 各寺院：300円

※令和5年4月リニューアル

主催：吉野山 寺宝めぐりの会 【お問い合わせ】金峯山寺 TEL.0746-32-8371

共催：吉野ビジターズビューロー
協力：吉野町・近畿日本鉄道株式会社
後援：奈良県・奈良県ビジターズビューロー・吉野山観光協会

世界遺産 吉野山 寺宝めぐり

※写真は特別公開予定の寺宝

金峯山寺(きんぷせんじ)金峯山修験本宗総本山

世界遺産。白鳳年間に修験道の開祖役行者が開いたとされる修験信仰の根本道場。秘仏三体の御本尊金剛蔵王権現を安置し、本堂蔵王堂と仁王門は国宝、銅鳥居は重文に指定されています。中世において隆盛を極め、現在も金峯山修験本宗の総本山として偉容を誇っています。 TEL.0746-32-8371



阿難(あなん)立像・迦葉(かしよう)立像

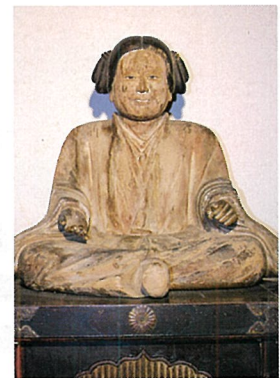
大日寺(だいにちじ)真言宗醍醐派

西方極楽浄土の主導である阿彌陀如来は、衆生を救い、そして西方極楽浄土に引導することを誓願としています。ここでは、阿彌陀如来を中心にして、二十五尊の菩薩がそれぞれに楽器を手にして歌舞音曲を奏でながら、共に雲に乗って西方極楽浄土より降り来たお姿、すなわち来迎の模様を描いた屏風絵であります。 ※要拝観料 TEL.0746-32-4354



阿彌陀如来二十五菩薩来迎図六曲屏風

竹林院(ちくりんいん)単立寺院



聖徳太子坐像

大峯山護持院の一つで、椿山寺として聖徳太子が創建し、道賢上人が多宝塔を建て日蔵院と号したと伝えられています。後小松天皇の勅命により竹林院と改められました。大和三庭園の一つに数えられる群芳園は、池泉回遊式の借景庭園で、千利休の指導を受けた細川幽齋が改修した庭です。 ※拝観料(400円)が必要です。 TEL.0746-32-8081

東南院(とうなんいん)金峯山修験本宗(別格本山)



役行者像・前後鬼像

大峯山護持院の一つで開祖は役行者と伝えられています。金峯山寺開創の際、東南の方角に建てられたことからこの名前がつけました。境内の中心的なお堂は護摩堂で、御本尊は役行者。境内にある多宝塔は昭和12年に和歌山より移築されたものであり、お祀りする大日如来は県指定文化財に指定されています。 TEL.0746-32-3005

喜蔵院(きぞういん)本山修験宗(別格本山)



大峯大天狗立像

大峯山護持院の一つで、智証大師の創建といわれています。本尊は役行者像で、天狗立像、蔵王権現像、不動明王立像などがまつられています。また、江戸時代、陽明学者熊沢蕃山が由比正雪の乱の際にしばらく身を隠した所としても知られています。 TEL.0746-32-3014

弘願寺(こうがんじ)高野山真言宗



虚空蔵菩薩坐像

本尊は木造阿彌陀如来立像(県指定文化財)で、鎌倉時代の作といわれています。また、本堂左側には石造の地藏菩薩があり、関屋地蔵と呼ばれています。元は関屋桜の近くにおまつりされていたもので、戦国時代に作られた貴重な地藏菩薩といわれています。 TEL.0746-32-3855

善福寺(ぜんぷくじ)高野山真言宗

真言密教の宇宙の根源を意味するキャ・カ・ラ・バ・ア・ウン(空風火水土識)を本堂にあらわしお祀りしております。真言開祖 空海様が説いておられ私達もそれに依って生かされております。 キャ【青色-弘法大師=頭】カ【黒(紫)色-役行者=眉間】ラ【赤色-不動明王=心中】バ【白色-井光権現=臍】ア【黄色-薬師如来=腰】ウン【桜色-本堂外壁=識】

TEL.0746-32-3747



キャ、カ、ラ、バ、ア、ウン六識堂

櫻本坊(さくらもとぼう)金峯山修験本宗(別格本山)



役行者 母公像

大峯山護持院の一つで、桜の夢のご縁で天武天皇が建立・勸願寺とされました。神変大菩薩(鎌倉時代・重文)を御本尊とし、釈迦如来坐像(重文)、地藏菩薩坐像(重文)など数々の宝物が奉安されています。聖天堂には役行者ご感得の聖天尊(歓喜天)が祀られています。 ※要拝観料 TEL.0746-32-5011

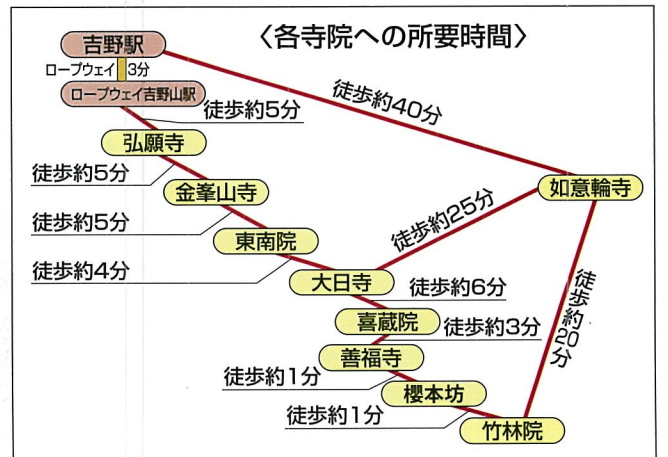
如意輪寺(にょいりんじ)浄土宗

延喜年間に、日蔵道賢上人の創建と伝えられています。後醍醐天皇が勸願寺と定められ、境内の裏には後醍醐天皇の御陵があります。宝物殿には蔵王権現像(重要文化財)や楠木正行が辞世の歌を刻んだ扉などが納められています。 ※要拝観料 TEL.0746-32-3008



四条畷の合戦の図(歌川国芳・作)

●各寺院の都合により拝観できない場合や公開する寺宝が変更になることがあります。



●ロープウェイ運休時は代行バスが運行しています。